

## 講演会・ミニ集会のお知らせ

秋の気配を感じるようになってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？この夏の猛暑では、なかなか体調管理も難しかったのではないかと思います。

お待ちかねの講演会についてのお知らせです。手術を中心に、病気に関する知識をしっかりと持つことで、健康管理に役立てて頂きたいと思います。ご家族の方も一緒にいらしてみたいはいかがでしょうか。

### 記

日 時：平成 25 年 9 月 29 日（日） 13：00～16：00

講 師：埼玉医科大学 石田秀行教授

テーマ：「家族性大腸腺腫症の外科治療と術後の注意点」

手術（術式）の適応や術後のサーベイランス（定期的な検査等）について、必要な知識を整理して、わかりやすくお話しさせていただきます。

参加費：300円(茶菓を準備します)

場 所：慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎（看護医療学部）

2階マルチメディアカンファレンスルーム

〒160-8582東京都新宿区信濃町35慶應義塾大学看護医療学部

<http://www.sc.keio.ac.jp/access.html>（←地図をご参照ください）

\* ご出席の事前連絡は必要ございません。

連絡・問合せ先：メール：takeday@sfc.keio.ac.jp（武田）TEL 03-5363-2064

当日は 090-9833-5078 にご連絡お願い致します。

## ～平成25年度ミニ集会予定～

変更の可能性がります

〈**昼の部**〉 13時～15時

〈**夜の部**〉 18時～20時

11月10日（日）

12月15日（日）（夜の部から日程変更になります）

1月19日（日）

2月7日（金）

3月9日（日）



## 親睦会<バーベキュー>のお知らせ

今年も昭和記念公園でBBQをします!! ネット予約が殺到する中、会員のKさんの技で確保いただきました。2週連続での企画になりますが、ご家族、ご友人もお誘い合わせの上、皆様ご参加下さい!!

### 記

日 時：平成25年10月6日（日）10：45（集合）～14：30（予定）

場 所：国営昭和記念公園バーベキューガーデン <http://www.showakinenpark.go.jp/>

〒190-3530東京都立川市緑町3137 TEL042-521-1222

（入園料 大人（15歳以上） 400円 小人（小・中学生） 80円）

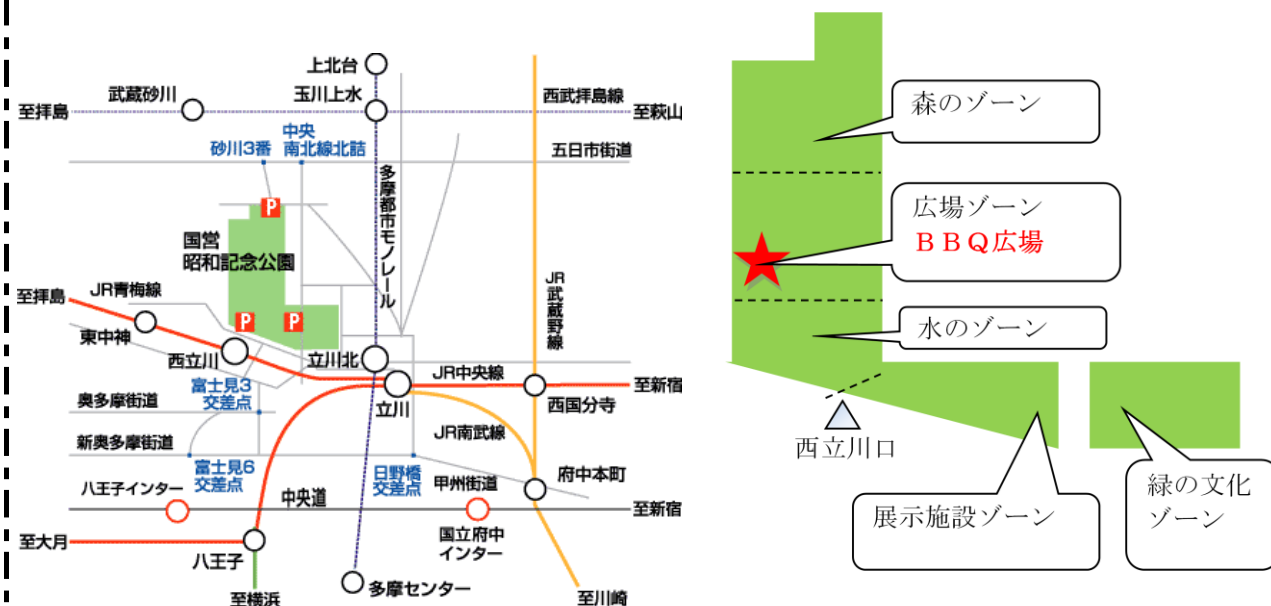
集合場所：バーベキューガーデン管理棟前（広場のゾーン）

当日連絡先；武田携帯090-9833-5078

参加費：大人 3000円

小人（～中学生）500円

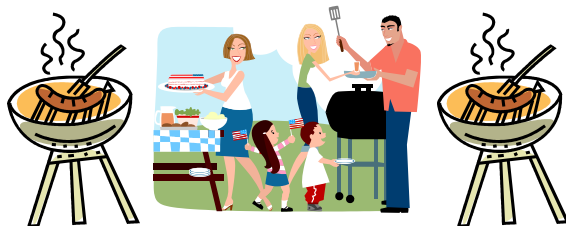
国営昭和記念公園



交通案内 新宿からJR中央線利用（青梅特快） 約40分（約30分）

JR青梅線・西立川駅から（西立川口 徒歩2分）が便利です。

\*尚、準備の都合がございますので、会員の方には返信用はがきを同封で、9月30日までにご返送ください。ハガキが同封されていない方はお手数ですが [takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp) まで、参加人数をご連絡下さい。



今年の1月27日の数間恵子先生のご講演は、参加された方からの強いご要望もあり、その内容を御寄稿頂きました。内容を分けて掲載させていただきますが、今回はまず準備編、大腸の役割とFAPの手術についてです。

## 家族性大腸線腫症（FAP）の術後の 身体の自己管理について その1

数間恵子\*

\* 元東京大学大学院医学系研究科  
成人看護学分野

はじめに

家族性大腸線腫症（FAP）の治療法としては、現在、がんの発生母体である大腸を全摘する手術が標準的治療となっています。大腸全摘では大腸が本来持っている機能が失われ、それに伴うさまざまなトラブルが起こる可能性があります。

ここではそのトラブルをできるだけ少なくして、術後のQOLを維持するために、みなさんご自身でできる身体を管理する技術を中心にお伝えします。内容は、1. 大腸の役割、2. 大腸全摘術の術式、3. 大腸全摘後のトラブルと対処、4. 大腸術後などの定期検査と受診について、5. これから大腸全摘術を受ける方へ、で、3回に分けて連載します。

### 1. 大腸の役割

大腸全摘によってどんなトラブルが起こる可能性があるか、そのトラブルを少しでも少なくするには、あるいは起こった場合にはどうすればよいかについては、まず、大腸を含めた消化管全体の構造（図1）と役割がどうなっているかを押さえておくことが役に立ちます。

消化管は口腔、食道、胃、小腸（十二指腸・空腸・回腸）、大腸（結腸・直腸）からなっています。私たちが口から取り込んだ食物は、唾液と混じり、食道を通過して胃に入り、胃の中では胃壁から分泌される胃液と胃の運動によって粥状になります。そして少しずつ胃から十二指腸、空腸へと送られます。十二

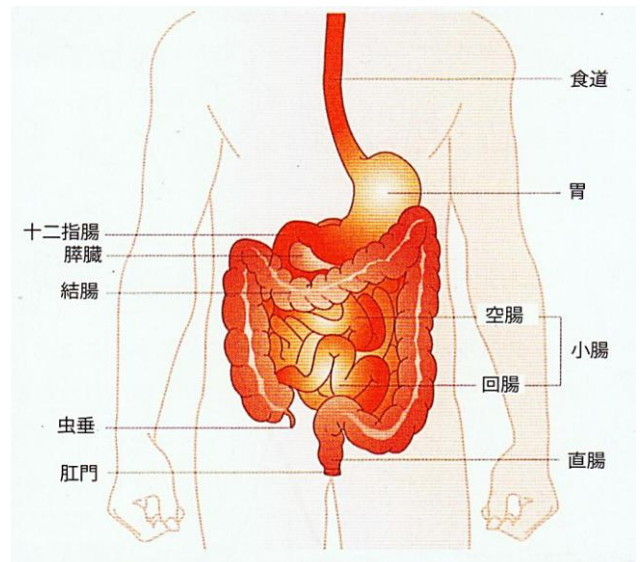


図1. 消化管の構造

指腸には肝臓で作られた胆汁と膵臓で作られた膵液の出口（乳頭部）があって食物と混じり、さらに腸壁から分泌される腸液も加わって消化が進み、同時に小腸壁の絨毛から栄養素が吸収され、回腸の末端に至るまでに食物として取り込んだ栄養素の殆どが水分などとともに吸収され、肝臓に運ばれて体内で利用されることとなります。結腸ではほぼ栄養素が吸収された残りの内容物から、水分と塩類（電解質）が吸収され、その残滓と腸内細菌の死骸が糞便となって直腸を経て肛門から出されます。

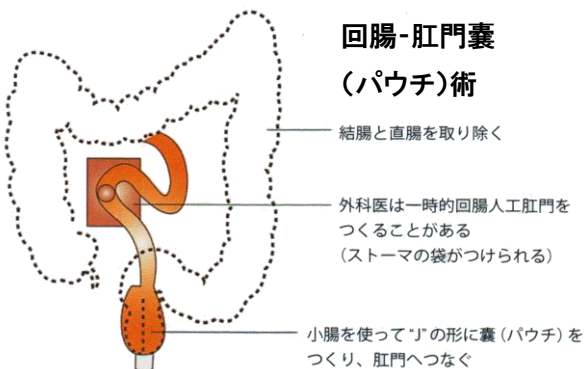
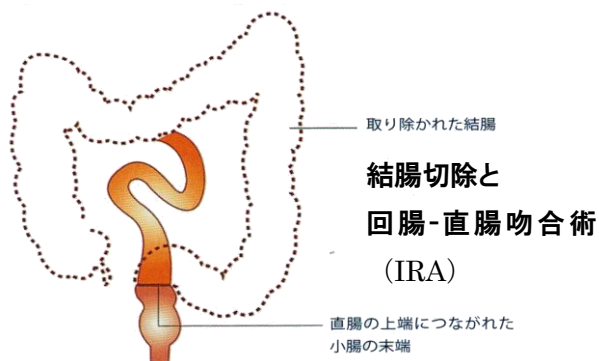
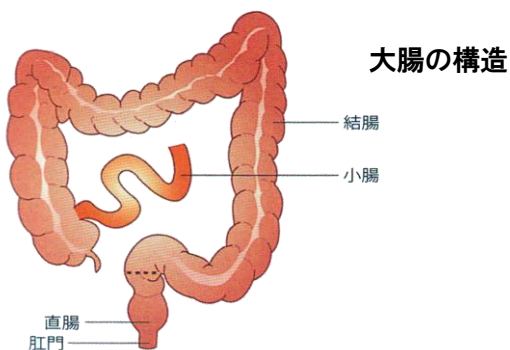
食物が口から入って糞便となって肛門から出るまでの時間は通常は大体25時間で、回腸末端まで届く時間と結腸に入って肛門から出るまでの時間は、それぞれ、全体の20%、80%といわれています。結腸ではゆっくりと時間をかけて水分と塩類が再吸収されて血液内に入ります。その血液が全身をめぐる、腎臓に入って老廃物が濾し出され、不要な水分と一緒に尿として体外に出されます。

因みに、唾液をはじめ、小腸までで分泌される消化液の量は、1日約8000ccといわれており、消化酵素と塩類が多量に含まれています。私たちが1日に水分として摂取する量が1日の尿量とほぼ同じとすると、約8000ccの消化液に含まれていた水分と塩類は腸壁から再吸収されて体内を循環していることになります。

## 2. 大腸全摘術の術式

代表的な術式は、結腸切除・回腸 - 直腸吻合術 (IRA) と回腸 - 肛門嚢 (パウチ) 術です。IRA では結腸を全摘し、回腸の末端を直腸の上端につなぎます。パウチ術では結腸と直腸を取り除き、回腸の末端を使って J の形の嚢 (J-パウチ) をつくり、その下の部分を肛門につなぎます。J-パウチが結腸・直腸の代用になります。このパウチ術は FAP の研究と診療の大家である宇都宮謙二先生によって開発された術式で、現在、FAP に対する標準術式となっています。

どちらの術式でも結腸がなくなりますので、本来、結腸が持っていた水と塩類を再吸収する機能が失われることとなります。



## 編集後記：

今回は、講演会、BBQと盛りだくさんのお知らせです。魅力的な企画に遠方からの参加希望もありそうです。多くの方と一緒できることを楽しみにしています。

数間先生の講演内容をシリーズでお届けします。自己管理には、きちんとした知識を持つことが大切です。ニュースレターの発行が待ち遠しくなりそうですね。

武田祐子

慶應義塾大学看護医療学部

E-mail: [takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp) (武田)

### 会費納入について

会費の納入方法は銀行の振込です。必ず会員の方のお名前を明記してください。

「ハーモニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に年会費(2000円)を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

＜年会費の振込先＞

りそな銀行 横浜支店 普通1594211

名義：ハーモニーライフ タケダユウコ

